

ワクチン接種後に出るかもしれない症状について

ワクチンを受けると、時々、痛みやだるさ、熱のような症状が出る場合があります。また、とてもめずらしいことですが、重い症状が出ることもあります。

◆ワクチン接種後に出るかもしれない重い症状

重い症状には、ワクチン接種後すぐに出るもの（「アナフィラキシー」と言います）と、すぐには出ないもの（「心筋炎、心膜炎」と言います）の2種類があります。

【すぐに出るもの】

- 皮膚の痒み、赤み、赤いぶつぶつなど
- おなかの痛み、吐き気、気持ちが悪い など
- 目が見えにくい
- せき、喉のかゆみ、息がしにくい など
- フラフラする、体に力が入らない など

これらの症状の多くは、接種後 30 分以内に出ると言われていますが、注射した後、すぐに出ることもあります。注射した後はすぐには帰らず、接種した病院でしばらくゆっくりしましょう。

【すぐには出ないもの】

- 胸がズキズキする、ドキドキする
- 手足や顔がふっくらする
- 体が重い、だるい
- 息がしにくい、ゼーゼーする、ハアハアする

◆ワクチン接種後に出るかもしれない症状

ワクチン接種した人の20人に1人以上に、次のような症状が出ると言われています。

- ワクチンを注射した部分の痛み、赤み、はれ
- 頭痛
- 下痢（おなかがゴロゴロする）
- 体が痛い
- 体が重い・だるい
- 寒気がする（ゾクゾクする）
- 発熱

＜ワクチンを注射した部分の痛みについて＞

ワクチンを受けた日に痛みが出て、2日間くらい続くことが多いと言われています。

その他の症状も数日でよくなると言われています。

このような症状が出たら、すぐに周りの大人に知らせましょう。
他にも、体の調子で何か気になることがあったら、お母さんやお父さんや、周りの大人にすぐに教えてください。